

# 復興支援活動レポート



平成30年1月31日

久留米市所属	総務課付（兼）健康福祉部健康保険課
派遣先所属	朝倉市 建設課 公共土木施設災害復旧班
派遣期間	平成29年9月1日～平成30年3月31日

## 1 主な業務の内容

業務概要	●災害復旧工事等契約事務●測量設計等契約事務●支払事務●窓口事務
事務内容	●道路・河川・橋梁等の災害復旧工事に係る施工業者との契約事務 ●災害査定等における測量設計業者との契約事務 ●道路・河川・橋梁等の災害復旧工事、測量設計の契約に係る支払事務 ●窓口対応及び電話対応業務

## 2 担当業務の状況

復旧工事関連の膨大な量の見積書確認、契約書類の作成、起案のほか、施工業者との協議等に奔走しています。また1月からは入札事務が始まるため、その準備も行っています。支払事務においては、振込日が固定（月2回）されているため、施工業者の決算時期や給与の支払い等も考慮し、可能な限り早めに支払えるようスピード感を持って業務にあたっています。窓口対応、電話対応においては、被災された市民の方は多くの不安を抱えているため、相談者の心に寄り添いながら、対応にあたっています。



●災害復旧に関する契約事務を行っている様子



●応援職員同士コミュニケーションを図っている様子

## 3 業務に携わって感じたこと（苦労したこと、学んだこと等）

業務上、被災写真を見た時に、道路や河川は原形をとどめず、家屋も流された状況から、災害の規模、恐ろしさを心から実感し、言葉が出ませんでした。

公共土木施設災害復旧班は、ほとんどが他自治体からの応援職員で構成されており、しっかりとコミュニケーションをとらなければ内部で連携ができないと感じました。

市民対応や施工業者の協議においても、あらかじめ朝倉市内周辺の地名を把握することで、余計な不安を与えず、スムーズに対応できると感じました。

朝倉市職員は自分自身が被災者でありながら、市民の生命・財産を守るため、昼夜を問わず、職務を全うしています。忙しい中で、嫌な顔ひとつせず、丁寧に業務を教えて頂きました。久留米市においてもいつ、災害が発生するか予測できません。今後、この経験を活かしていきたいと思えます。また、朝倉市職員の方から久留米市で災害が発生したら必ず応援に行くと言って頂いたことが嬉しかったです。